

多項目自動血球分析装置 仕様書

1. 品名および数量

多項目自動血球分析装置 一式

構成内訳 ・多項目自動血球分析装置 一式

・その他（搬入、据付、移行、調整及び撤去、廃棄等を含む）

2. 仕様

■ 調達物件に備えるべき技術的要件

- 多項目自動血球計数装置は下記の要件を満たすこと。
- ✓ 血球計数項目は、CBC8項目（白血球数、赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット、血小板数、平均赤血球容積、平均赤血球ヘモグロビン量、平均赤血球ヘモグロビン濃度）を定量測定する機能を有すること。
- ✓ 白血球分類項目は、好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球の各実数および百分率を測定できる機能を有すること。
- ✓ 白血球測定、白血球分類には、測定原理に核酸染色を用いたフローサイトメトリー法を採用していること。
- ✓ フローサイトメトリー法の使用光源には交換頻度の少ない半導体レーザーを採用していること。
- ✓ 白血球低値検体において分析量を増やす低値白血球用の専用モードを搭載し、精度の高い白血球測定および白血球分類が可能であること。
- ✓ 赤血球および血小板測定の測定原理には、分析量が多く再現性に優れるシースフローDC検出方式を採用していること。
- ✓ 検体測定サンプラーは、20検体以上の検体投入ができ、連続測定が可能であること。
- ✓ 検体測定サンプラーは、バイオハザード対策としてクローズ測定可能な機能を有すること。
- ✓ 処理能力は、サンプラー測定、マニュアル測定ともにCBC+DIFFで60検体／時間以上であること。
- ✓ 吸引血液量は28 μ L以下であること。
- ✓ 採血量が少ない検体のため希釈モードを有すること。
- ✓ モニター部を除く測定部本体の外形寸法は幅490mm×奥行690mm×高さ490mm以内、重量60kg以内であること。
- ✓ 検体バーコードを使用し、ホストコンピュータから検査依頼情報・患者属性を受信する機能を有すること。
- ✓ ホストコンピュータからの依頼情報に基づくリアルタイムランダムディスクリット測定が可能であること。
- ✓ 測定結果はリアルタイムにホストコンピュータへ送信する機能を有すること。

- ✓ オンライン精度管理で全国集計のデータとリアルタイムに比較する機能を有すること。
- ✓ リモートメンテナンスにより装置の異常監視する機能を有すること。
- ✓ エラーおよびトラブル発生時の対応として、日本語表示による対話方式で対応できること。
- ✓ 定期メンテナンスの実施を促すメッセージを提供する機能を有すること。
- ✓ 記憶機能として100,000件以上の測定データ、10,000件以上の患者情報を記憶できること。
- ✓ コンピューターウイルスに対するセキュリティ対策が施されていること。

■ 調達物件に備えるべき設置要件

- ✓ 設置場所「小野田赤十字病院」。
- ✓ 本装置を完全に稼働可能とするために、必要な運搬、据付、調整及び廃棄等については、すべて契約金額内で実施すること。
- ✓ 当院が指定する場所において、本装置が完全に稼働するための据付、運転、調整及び廃棄について、病院担当者と協議して定められた期日までに行うこと。また、本装置の使用者に対して、操作方法、保守等について必要事項の説明及び指導を行うこと。
- ✓ 機器の無償保証期間は、納入後1年間とする。
- ✓ 納入後の故障に対しては、迅速な修復が可能な体制を有すること。
- ✓ 導入を通じて得た当院に関する情報（患者個人情報を含む）は、いかなるものも外部に漏らすことなく、機密保護を遵守すること。